

義理人情と別に入れ

# 秋穗行衣秋

## 秋穂中学校特別教室落成



昨年9月以来山陽建設工業株式会社の手により工事が進められておりました中学校の特別教室が此の度、見事に完成去る3月13日午前10時より関係者多数出席のもとに盛大な落成式が行われました。

新築された特別教室は、1階第1工作室、第2工作室及び便所、2階理科室、理科準備室、3階音楽室、図鑑室、総工費1千4百余万円3階建鉄筋コンクリート造りの複雑なもので、この種の建物では県下でも余り数を見ない立派な建物です。

落成式終了後餅まきが行われましたが、当日は生徒の顔にもさすがに喜びが溢れ、この特別教室を最大に利用し、より高い教養を身につける事でしょう。

写真説明 完成した特別数学

国保年金に加入して、保険料を支払っておれば、それをつとても毎月まとった額の年金を貰えるので明るく暮すことができるのです。そればかりではありません。万一大怪我をしたり、または見事になつたりしたときにも、毎月きつた額の年金を貰うことが出来、生活が保障されます。

一日一日と過ぎ去つて行く私達の人生では、遠い将来や、思つていることも案外間近い

国民年金の保険料は  
納まっていますか?

国民年金に加入して保険料を支払うと、年金を貰うことができます。それがかりではあります。万一大怪我をしたり、母子家庭になつたり、重病になつたりしたときにも、毎月きつた額の年金を貰うこと)が出来、庄店が保障されます。

一日一日と過ぎ去つて行くうちに、何時事故にあつたりするかわからず、いつになつて、毎月きつた額の年金を貰うことがあります。それはかりでもすむように国民年金の保険料は決してからきらんとおきません。そこで、保険料が払はれて、後悔してしまひます。

今までの分で納まつていなければ、保険料が払はれたら「明日でよからう」などと思わず、直ちに納めてしまいましょう。

陰料は  
ますか

本選挙人名簿に登録さ  
居るか不明の方は選管  
局にお尋ね下さい。

り、県としては  
一、県民体位の向上  
二、道義のこう揚

迎える合西策々  
のうちに今年は第十八回国際  
体育大会が山口県内十三市町  
村一統で開催されるここと文

## 健民運動を 推進しよう

「運動競技を理解して、した  
いが、」  
〔某園体操普及運動会の  
上。〕

出席のものとて裁査に行われ、早速工事に取りかかることになりました。

〔二〕株のエチケットを身につけておなじみ

月5日

4月17日（4月2日告示）

### 山口県議会議員一般選挙

月 30 日  
秋 糸 町 長 選 擧

# 三月定例議會 昭和三十八年度一般會計予算額

### 九六・四四九千円を可決

第一回定期町議会は、三月三十一日午後一時から議事堂にて招集され、翌日九時開会して審議に入りました。  
審議された新平税、役員会計、四、四月三十八年度一般会計

四、昭和三十九年夏度賃住宅  
特別会員免成員歳出追加更正算について  
四、昭和三十九年夏度賃住宅  
特別会員免成員歳出追加更正算について

五、山口県町村職員送別金について  
六、山口県町村消防費

十四、一時借入金について  
十五、山口県町村職員送別金について  
十六、山口県町村消防費

三、昭和三十七年度賃住宅  
特別会員免成員歳出追加更正算について  
三、昭和三十七年度賃住宅  
特別会員免成員歳出追加更正算について

十四、一時借入金について  
十五、山口県町村職員送別金について  
十六、山口県町村消防費

三、昭和三十七年度賃住宅  
特別会員免成員歳出追加更正算について  
三、昭和三十七年度賃住宅  
特別会員免成員歳出追加更正算について

面目を一新する秋浦均田跡

車エビ養殖センター起工式

**登録申請について**

◎四月十七日執行山口県議会「申請場所」  
全一般選挙(四月三日現  
在調整)

【申請する人】  
昭和十八年四月四日以前に生れ秋穂町に三ヶ月以上  
上の居住者で基本選挙人に登録されていない人  
人間監守)

【申請期限】  
四月七日午後五時迄(時昭和三十八年四月二十四日)

【申請場所】  
郵便局事務局(大森支所)選管事務局(秋穂町役場)  
は不可)へ本人か家族の人が直接御持参下さい。

【申請用紙】  
区役所、選管事務局にあります。

【申請期間】  
四月二十四日午後五時迄(時昭和三十九年四月二十二日)

【申請手数料】  
選挙(四月二十三日現在△基本選挙人名簿に登録さ  
れてない人)選管事務員に全じります。

【申請手数料】  
同右

【申請手数料】  
事務局にお尋ね下さい。

（ねる物）を施行しよう  
（運動競技を理解し、した  
してみることから）  
【業商体操を普及しましょ  
う】  
五、郵事事情の普及及  
して通じて農民ひとりひ  
とりがすこやかな心身をも  
おたがいが明るく豊かな生活  
をもとめることを目標として  
ます。  
秋樹町としてでも団体の  
会場地ではありませんが、經  
営せられたり、又は会場地の  
方にお出かけになつたりする  
（アメ化運動）  
（ハエ、おの撲滅のためゴ  
ミ箱、下水溝をきれいに  
してみよう。）  
（回漕押田を抜けழこりや。）  
（花でいつもを行いまじょよ  
う）  
◎団体の體力体制  
　婦人団体  
　体育クリニーションの  
　生活化

## 声明書

選舉は、民主政治の基盤であり、国民の自由に表現する意思によつて、公明かつ正確に行なわなければならない。しかるに、近年行なわれた各種の選舉の実態は、必ずしも公正とは考えられず、依然として、情実や金権による影響が敵を絶たないことはまことに遺憾である。

さて、四月の統一地方選舉が地方自治の根幹をなすことに思ひいたすとき、一層これが公明化推進の必要を痛感するものである。

こゝに、われくは、選舉にまつわる選舉を一掃して、選舉が地方自治の根幹をなすことに思ひいたすとき、一層これが公明化推進の必要を痛感するものである。

従つて、わづかく、選舉の三つの事項をとじてその微細をはかり、もつて選舉の公明化を推進することともに、その決意を新たにするものである。

## 一、選舉法の精神をよく理解

二、地区で候補者を推薦し、これを強制する選舉を徹底する。

この選舉が公明化推進にあたつて、特に、立候補予定者、その他開票者も遠んでこの運動に参加されるよう要請するとともに、有権者各位におかれても、この選舉の重要性を理解され、主権者として良心に恥じない一票を行に選出されるよう切望するものである。

昭和三十八年三月

地方選舉公明化推進

山口県本部

一票のそれが生活に

はねかえり

## 養老施設

## 秋楽園の増築完成



中選局を見渡す高台にある  
養老施設秋楽園の拡張増築は  
既報のとおり、昨年八月七日  
着工し、十二月十九日めでた  
く竣工しました。

増築した建物は、敷地七四  
坪、倉庫、食堂、浴室等、  
延べ二三坪でその他給食場浴  
場の整備改造など総工費八三  
〇万円で出来上つたものであ  
ります。

総工費のうち国庫及び農業  
補助金四五八万円の他は、す  
べて三郎七ヶ町が負担してお  
りますが、このうち二〇〇万  
円は、昭和三十七年度国民年  
金特別融資を受けたものです

このように社会福祉の整  
備事業に役立っています。

完成した園では、本年一月  
中旬から入園を開始しており  
既に九〇名の老人たちが、楽  
しく余生を送っています。

写真は完成した秋楽園



## 公民館結婚式

## 保険だより

昭和三十二年五月に第一回  
の結婚式を行いましたから六  
年、秋穂町公民館では、去る

三月二十三日の大安吉日には公  
民館結婚式の二〇〇回目が行  
われました。

中選局を見渡す高台にある  
養老施設秋楽園の拡張増築は  
既報のとおり、昨年八月七日  
着工し、十二月十九日めでた  
く竣工しました。

増築した建物は、敷地七四  
坪、倉庫、食堂、浴室等、  
延べ二三坪でその他給食場浴  
場の整備改造など総工費八三  
〇万円で出来上つたものであ  
ります。

総工費のうち国庫及び農業  
補助金四五八万円の他は、す  
べて三郎七ヶ町が負担してお  
りますが、このうち二〇〇万  
円は、昭和三十七年度国民年  
金特別融資を受けたものです

このように社会福祉の整  
備事業に役立っています。

完成した園では、本年一月  
中旬から入園を開始しており  
既に九〇名の老人たちが、楽  
しく余生を送っています。

写真は完成した秋楽園

## 自然に親しもう

春うらら。か、スポーツの  
シーズンになつてきました

東方便山（七三四メートル）

登り難走（四千メートル）して西  
方便山（七四一メートル）に登  
る登山を計画しました。希  
望の方は参加費一五〇円  
也を添えて四月十日㈯に町  
公民館にて申込

（帰路）食事バスにて午後  
六時町公民館着

急騰品（きす葉、内服薬

五下さい

登山コース

◎日時四月二十一日（日）

◎出発午前六時三十分町

◎参加料一人一五〇円

◎参加対象一般成人者

五〇名

## 100回を迎えた

## 公民館結婚式

昭和三十二年五月に第一回  
の結婚式を行いましたから六  
年、秋穂町公民館では、去る

三月二十三日の大安吉日が行  
われました。

中選局を見渡す高台にある  
養老施設秋楽園の拡張増築は  
既報のとおり、昨年八月七日  
着工し、十二月十九日めでた  
く竣工しました。

増築した建物は、敷地七四  
坪、倉庫、食堂、浴室等、  
延べ二三坪でその他給食場浴  
場の整備改造など総工費八三  
〇万円で出来上つたものであ  
ります。

総工費のうち国庫及び農業  
補助金四五八万円の他は、す  
べて三郎七ヶ町が負担してお  
りますが、このうち二〇〇万  
円は、昭和三十七年度国民年  
金特別融資を受けたものです

このように社会福祉の整  
備事業に役立っています。

完成した園では、本年一月  
中旬から入園を開始しており  
既に九〇名の老人たちが、楽  
しく余生を送っています。

写真は完成した秋楽園

## 住みよい社会を

かけています。

この週間中の具体的な問題

として

△他人にめいわくをかけない  
自衛の態度

△社会の進歩発展にもつな  
がる活動になります。多くの生  
活の近代化によって、これに  
対応して社会生活に新しい秩  
序を育て、いくために、婦人  
の社会人としての努力が期待  
されています。

△婦人団体のわらい

そこで、婦人が変化の激し  
い社会生活の中に起つてくる  
新的問題をとりあげ、そ  
れぞの立ち場で育てていく  
ことを考えてみようとすると  
が、ことしの婦人週間のねら  
いとなつています。

△女性化の進歩

このようなねらいを考え方  
法で、婦人が社会的良  
心を生かし育て、明るい社  
会生活を築くよう努力する」  
をテーマとし、また「みんな  
の想いと心が、住みよいま  
いものづくり」のスローガンをか  
れました。

△社会の福祉に寄与するため  
の努力

△世帯形成者として

△子どもの教育者として、家  
庭の管理者として

△近隣、職場、その他の社会  
の個人として

△社会の福祉に寄与するため  
の努力

△